

23京木連第35号
平成23年12月22日

京都府知事 山田 啓二 様

社団法人 京都府木材組合連合会
会 長 辻 井 重



京都府木材協同組合連合会
理 事 長 辻 井 重



平成24年度京都府予算要望書

京都府におかれましては、社団法人 京都府木材組合連合会及び京都府木材協同組合連合会の活動に対し、常日頃から格別のご指導、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

本年3月11日発生の東日本大震災につきましては、9ヵ月が経過したにもかかわらず、福島原発事故は未だ収束の兆しが見えておりません。加えて、欧州発の債務・金融危機により世界経済は混迷を深め、わが国経済の閉塞感は一段と高まっております。

このような中、10月に京都テルサで開催の「第48回全国林業労働災害防止大会」では、山田知事様から激励のご祝辞を賜り、東北・近畿南部は勿論、全国各地からの参加者が勇気づけられました。本当にありがとうございました。

折しも本年は国連が定める「国際森林年」であり、木材自給率50%以上とする「森林・林業再生プラン」元年で、京都府におかれましては、「森林・林業経営高度化プラン」を検討されています。

従来より府林務行政は「川上」部分しか見てこなかったものを、今回のプランは「川中」「川下」部分まで焦点を当てた総合的施策であり、画期的なものであります。

本会といたしましても、「DO YOU KYOTO?」を合い言葉として、①森林・林業経営高度化プラン実施 ②林業大学校開設 ③府温暖化対策条例による地元産木材利用義務づけなど全面的に協力し、「DO YOU KYOTO?」が府民運動へと発展するよう取り組んでまいりたいと考えております。

つきましては、平成24年度予算の編成に当たり、下記の項目につきまして更なるご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 「森林・林業経営高度化プラン」に木材業界は大いに期待するものであり、府内産木材の流通拠点として木材市場の機能強化を図るとともに、府民ニーズに即応できる加工体制・情報発信機能の中核となる木材展示施設を着実に整備すること。
- 2 府内産木材の利用を推進するため、公共施設の建築に当たっては、材工別に発注するとともに京都木材規格製品の使用を京都府仕様書に明記すること。また、公共建築物における平成24年度木材使用量（概数）を開示すること。
- 3 外国における違法伐採対策を推進し、京都府内での合法木材利用を徹底すること。